

令和4年

第15回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和4年第15回教育委員会会議 議事録

1 期 日 令和4年10月13日 木曜日

2 場 所 教育委員室

3 開 会 午前10時

4 閉 会 午前10時20分

5 出席者 教育長 安田 浩幸

委 員 吉村 昌之

岩佐 信宏

大塚和歌子

伊勢 昌弘

奥 真由美

6 説明のための出席者

教育次長 伊藤 真人

教育次長 和田 渉

総務課長 元野 隆史

高校教育課長 佐藤 進

特別支援教育課長 佐々木 孝紀

7 会議に付した事項

議案第38号 教育庁等職員の任免について

8 可決した事項

議案第38号 教育庁等職員の任免について

9 報告事項

(1) 鹿角小坂地区統合校（仮称）の校名募集における応募件数等について

(2) 第20回秋田県特別支援学校文化祭について

10 会議の要旨

【安田教育長】

ただいまから、令和4年第15回教育委員会会議を開催いたします。

本日の議事録署名員は1番吉村委員と5番奥委員にお願いします。

審議に入る前に、議事の進行についてですが、議案第38号の「教育庁等職員の任免について」は、その他全ての案件終了後に行うこととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

それでは、そのように進行いたします。

はじめに、報告事項の「鹿角小坂地区統合校（仮称）の校名募集における応募件数等について」高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「鹿角小坂地区統合校（仮称）の校名募集における応募件数等について」説明概要

- ・ 公募期間は、令和4年8月1日から9月30日までの2か月間であった。この間の応募総数は1,031件、校名数は574である。応募いただいた方に感謝申し上げるとともに、千件を超える応募の多さからも、改めて、統合校に対する県民の興味・関心の高さを感じているところである。
- ・ 今後は、10月中旬から11月下旬にかけて、花輪高校、十和田高校、小坂高校のそれぞれで、生徒・PTA・同窓会等の代表による合同意見交換会を3回実施し、選考方針や校名についての意見を伺うとともに、教育庁内での検討状況等についても説明して参る。同様に、3校それぞれの教職員からも意見聴取等を行う。
- ・ 教育庁内では10月下旬から、合同意見交換会等でいただいた意見を踏まえながら、選考方針（案）を作成し、それに基づいて校名を20候補、5候補、3候補と段階を経ながら絞り込んでいく予定である。
- ・ 教育委員には、経過報告として、12月8日の教育委員会会議で「校名」5候補を公表したいと考えている。
- ・ 12月下旬には「校名」候補を内定し、令和5年2月の教育委員会会議で発表、そして、令和5年6月の県議会において「秋田県立高等学校設置条例の改正案」を提案する予定であり、採決されて校名が決定することになっている。

【安田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【大塚委員】

2か月間で千件以上の応募があり、地域の方々の関心の高さが伺えます。また、能代科学技術高校のときにも思いましたが、やはり新しいことが始まると、みんな楽しみなのではないかと思いました。これから、校歌や学校章、制服等も変わってくると思うので、来年もまだまだたくさん楽しみがあると思いました。

【高校教育課長】

校歌、校章は、予定では来年度に決めたいと思っておりますが、制服は、今年度3校に入学した1年生が統合校の3年生になりますので、今の1年生から共通の新しい制服になっております。

【吉村委員】

応募総数が1,031件ということですが、応募のうち、不適當等で削除されたものはあるのでしょうか。

【高校教育課長】

現在は、応募したものをそのまま受け付けている状態です。この後、話し合いの中で選考の基準等も考えて参りますので、その中で、基準にそぐわないものを除外する可能性はあると思います。

【安田教育長】

他になれば、次に、二つ目の「第20回秋田県特別支援学校文化祭について」特別支援教育課長から説明をお願いします。

【特別支援教育課長】

報告事項「第20回秋田県特別支援学校文化祭について」説明概要

- ・ 今年度で第20回となる秋田県特別支援学校文化祭は、「みんなの心に届け20(にじ)いろ」のキャッチフレーズの下、開催される。第20回にちなんだ企画を部門ごとに準備している。
- ・ 音楽・演劇部門によるステージ発表「スマイル・ステージ」は、一昨年度と昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。今年度は、オンラインを活用した新たな表現活動の場として「第1回わくわくShow time」を開催するが、関係者のみの限定配信となる。
- ・ 「わくわく美術展」と「みんなの写真展」は、11月11日から14日までの4日間、秋田市にぎわい交流館AUで開催する。さらに、「でまえわくわく美術展」を、能代市の能代エナジウムパーク、大館市のイオンスーパーセンター大館店、大仙市のイオンモール大曲で開催する。
- ・ 全県各地の多くの方々に、特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の作品を観ていただき、特別支援教育に対する関心を高め、理解を促進したいと考えている。美術展と写真展に足を運んでいただき、障害のある子どもたちの表現活動を御覧いただければと思う。

【安田教育長】

ただ今の説明について、質疑等はございませんか。

【奥委員】

「第1回わくわくShow time」について、関係者のみにオンラインで限定配信とのことですが、関係者というのはどういう方々でしょうか。

【特別支援教育課長】

各県内の特別支援学校の関係者ということで、今回は開催をする予定になっております。

【奥委員】

より広く知っていただきたいという視点から話すと、やはり関係者だけだと、範囲がどうしても狭くなってしまいます。せっかくの子どもたちの表現活動を知っていただくには、すごくいい機会だと思います。美術展も写真展も素晴らしいと思うんですけども、やはり躍動感のある動きをもっと知っていただくことは、一般の方たちに対しても、すごく良いのではないかなと思ったのですが、関係者だけに絞る理由があるのでしょうか。

【特別支援教育課長】

今回は第1回目の取組ということになりまして、企画自体が形になったものになるかどうか難しい段階で進めているところがあります。ただ、以前「スマイル・ステージ」を行っていたときは、本当に多くの方々から見ていただきましたので、この後、こういう形で進めるとしても、来年度は少し配信の幅を広げる方向で考えていければと思っております。

【奥委員】

この「第1回わくわくShow time」は、今はコロナ禍でオンライン開催ということでしたが、これまではどういう場所で行われてきたのでしょうか。

【特別支援教育課長】

ステージは、いわゆる各地区の文化会館と言われるような場所で、県北・県央・県南と1年ずつ会場を代えて行っておりました。ですから、3年に1回はその地区で開催されるようにステージを行って参りました。

【大塚委員】

いつも「でまえわくわく美術展」を見るために能代市の能代エナジウムパークへ行っているんですけども、すごく細やかであったり、目線の視点が全然違い妙な間があったりする絵があります。思わずずっと見てしまうような、何とも言えない視点がすごく楽しくて、一つひとつもっと見たいと、額に入れて売ったらすごい値段がつくだろうと思うようなものもあり、不思議な空間で、その芸術性といったら計り知れないと思います。この自由な発想で描いている素晴らしさが、能代エナジウムパークの廊下に飾られているんですが、勿体ないと思うこともあります。ちゃんとした場所で、一つの空間にそこがライトアップされれば、すごいものになるのではないのでしょうか。

美術展は結構楽しみなんですけれども、今年、能代にはイオンができました。イオンの入口のところに適した空間があって、子どもたちの絵等を飾るところがあるので、そういう場所だとより人の目に触れることが多いのではないかと思います。

【特別支援教育課長】

能代のイオンは今まで考えておりませんでしたので、新しい会場として検討したいと思います。

【大塚委員】

良い入口が2か所あるんですが、後ろの方はエントランスが広くて、色々なものを掲示しています。イオンにとってもイベント同様、人の入るきっかけになるし、夜も遅くまで開いているので色々な人の目につくだろうから、子どもたちの嬉しさにも繋がると思いました。

【安田教育長】

特別支援教育課は、来年に向けて検討してください。

【大塚委員】

オンライン開催の「第1回わくわくShow time」について、能代支援学校のミュージカルを観に、毎年能代市民文化会館に行っておりましたが、ものすごい感動でした。毎年テーマが違うんですけども、会場の後ろで、お母さん方もすごい泣いているんですね。ですから、いつかコロナが落ち着いて、オンラインではなく、実物のエネルギーを感じられるときになったら、文化会館でやるようになったら、また行きたいと思います。

【特別支援教育課長】

コロナ禍の前はそういう形でやっておりましたので、コロナが収まれば、また元の形にしたいと学校では話をしております。

【大塚委員】

これは本当に良い取組だと思います。やる人はどれだけ大変なのかと想像すると、実現に持っていくまでの努力はすごいなと感じます。

【特別支援教育課長】

具体の話をする、学校の方で夏休みくらいから準備を始めて、大体秋に開催ですので、学校の文化祭を経て、この文化会館までというのを1つのクールでやっておりました。ここは全県の中でも、ミュージカルにずっと力を入れてきた学校です。これは続けてほしいなと思います。

【大塚委員】

いつかまた文化会館で観たいなと思います。

【安田教育長】

ここで、「5 その他」として何かございませんか。

特になければ、議案第38号については、人事案件であることから秘密会としたいと思いますが、いかがでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【安田教育長】

異議がないので、秋田県教育委員会会議規則第25条により秘密会といたします。傍聴の方は退室をお願いします。

※秘密会のまま終了